

※本リリースは、(株)ファンケルおよびキリンホールディングス(株)から、同内容にて各報道機関へ配信しております。

FANCL

正直品質。

よろこびがつなぐ世界へ
 **KIRIN**

報道関係者各位(企業情報)

2022年2月22日

「プラスチックが循環し続ける社会」を目指し連携をスタート — プラスチックリサイクル推進に向けた課題を解決し、循環型社会への貢献を目指す —

株式会社ファンケル(本社:神奈川県横浜市/代表取締役社長 CEO 島田和幸 以降ファンケルと表記)は、キリンホールディングス株式会社(本社:東京都中野区/代表取締役社長 磯崎功典 以降キリンと表記)と2019年の資本業務提携を契機にさまざまな協業を進め、シナジーを生み出しています。

このたび、両社が目指す「プラスチックが循環し続ける社会」の実現に向け、PET素材の再利用促進を目的に、ファンケルとキリンで連携を開始し、循環型社会への貢献を目指します。

ファンケルでは、昨年の7月から独自の取り組みとして「FANCL リサイクルプログラム」を実施しています。使用済みの化粧品PET容器を、一部の直営店舗で回収して植木鉢にマテリアルリサイクルを行い、横浜市のガーデンイベントに寄贈をします(※参照①)。このプログラムは、今後も継続を予定していますが、マテリアルリサイクルは、PET素材の品質の持続性に課題があることから、資源循環のリサイクル手法としてケミカルリサイクルへの切り替えを検討しています。

キリンでは、2020年12月より三菱ケミカル株式会社(社長 和賀昌之)と先行してPETケミカルリサイクルの実用化に向けた共同プロジェクトを開始しています(※参照②)。2019年2月に策定した「キリングループプラスチックポリシー」の「日本国内におけるリサイクル樹脂の割合を2027年までに50%に高める」という目標達成に向け、プロジェクトでは、廃PETボトル以外の廃PET製品を回収する仕組みも合わせて構築し、将来的には「PET製品からPET製品」への再生を目指しています。

このたび、ケミカルリサイクルにおいてファンケルとキリンの両社で協働し、「プラスチックが循環し続ける社会」へ向けた取り組みを促進します。

ファンケルとキリンでは、今後もさらにプラスチックの資源循環をはじめとする環境課題の解決について取り組み、環境におけるシナジーを創出してまいります。

※①「FANCL リサイクルプログラム ~花と緑を広げよう~」を開始

https://www.fancl.jp/news/pdf/20210623_fanckrisaikuru.pdf

※②三菱ケミカル社と共同プロジェクト開始

https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2020/1228_01.pdf

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

株式会社ファンケル 広報部

神奈川県横浜市中区山下町 89-1 TEL:045-226-1230

メールアドレス official@fancl.co.jp

キリンホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL:03-6837-7028

メールアドレス kirin-cc@kirin.co.jp

企業情報Webサイト <https://www.kirinholdings.com/>

商品・サービス情報Webサイト <https://www.kirin.co.jp/>